

株式会社ロッテリアに関する株式譲渡契約締結のお知らせ

株式会社ロッテホールディングス（代表取締役社長：玉塚 元一 以下「当社」）は、株式会社ゼンショーホールディングス（代表取締役会長兼社長兼CEO：小川 賢太郎 以下「ゼンショーホールディングス」）の完全子会社である株式会社ゼンショーファストホールディングス（代表取締役社長：長谷川 龍哉 以下「ゼンショーファストホールディングス」）との間で、当社完全子会社である株式会社ロッテリア（代表取締役社長：庄野 和彦 以下「ロッテリア」）の全株式を譲渡することについて、株式譲渡契約（以下「本株式譲渡契約」）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式譲渡の理由等

当社グループは、「みなさまから愛され、信頼される、より良い製品やサービスを提供し、世界中の人々の豊かな暮らしに貢献する」という企業理念と「消費者の立場になって考えること」、「独創的なアイデアを探しつづけること」、「すべてにわたって最上の品質を究めること」という三つをロッテバリューと定義した上で、多様な業態での事業展開を進めております。今般、グループの成長戦略の策定に際して、事業ポートフォリオの見直しを図る中、ロッテリアの位置づけについても慎重に検討した結果、最適なパートナーのもとで、ロッテリアの更なる成長を実現することがベストな選択と判断いたしました。

ロッテリアは、1972年に東京日本橋に1号店が誕生して以来、日本全国に358店舗（2023年1月1日時点）を展開し、常にファストフードのリーディングカンパニーとして業界をリードしてまいりました。ロッテリアは、企業理念として、「すべてのお客様に感動と満足を」を掲げており、顧客本位の思想を貫き、Quality（品質）・Cleanliness（清潔）・Service（サービス）+Time（速さ）の基本四原則を通して、お客様が心から喜んでいただけるサービスの提供を目指してまいりました。また、新メニューの開発、いごちのよい店舗展開、サービスの一層の向上など、基本の徹底を図ることで、「あたたかみのあるおもてなし」を実践しております。

ゼンショーホールディングスは、「世界から飢餓と貧困を撲滅する」という経営理念のもと、食に関わる事業を幅広く展開し、世界中の人々に安全でおいしい食を手軽な価格で提供するという使命をもって、グローバルに事業を展開している企業です。現在、売上高は6,585億円（2022年3月期）であり、日本の外食企業でNo.1の地位を確立しています。外食事業では、「すき家」、「はま寿司」、「ココス」などの複数のブランドを展開しており、豊富なオペレーションノウハウ・商品開発ノウハウ・マーケティングノウハウを有していることから、

ロッテリアの今後の持続的な成長及びステークホルダーの皆様を提供する価値の最大化を実現するためには、ゼンショーホールディングスがロッテリアのベストパートナーであると判断し、本株式譲渡契約の締結に至りました。

「ロッテリア」ブランドは、株式譲渡後も一定期間継続される予定となります。

2. ロッセリアの概要

(1) 名 称	株式会社ロッテリア
(2) 所 在 地	東京都新宿区西新宿 3-20-1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 庄野 和彦
(4) 事 業 内 容	食品の製造販売、飲食店及び食料品店の経営、フランチャイズシステムによるフードサービス事業
(5) 資 本 金	1 億円
(6) 設 立 年 月 日	1972 年 2 月 9 日
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ロッテホールディングス 100%

3. 株式譲渡する相手先の概要

(1) 名 称	株式会社ゼンショーファストホールディングス
(2) 所 在 地	東京都港区港南 2-18-1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長谷川 龍哉
(4) 大株主及び持株比率	株式会社ゼンショーホールディングス 100%

4. 株式譲渡日

2023 年 4 月 1 日 (予定)

以 上